



# 金谷十三人衆

## 紡がれるべき江川の歴史

N高等学校 信藤 權

### 江川家住宅

通称江川邸。自分の叔父が当主として管理している、静岡県伊豆国市韮山の、**国指定重要文化財**。江戸時代には敷地内に韮山代官所を有し、江川家が代々世襲で**代官の役を担っていた**。東西約150m、南北約200mの大きさを誇る。



森永二郎氏によって描かれた江川邸の俯瞰図の複製  
雪景色の江川邸（公式インスタグラムより許可をいただきました）

### 江川家

清和源氏より派生する一族で、1156年保元の乱に敗れ伊豆へと逃れた。それ以来、韮山に定着し、仏間には日蓮聖人を招いたこともある。今は東京に移動している。



江川家に仕えていたジョン万次郎によって撮影された37代英敏

## 1 研究背景

現代社会において、文化財の必要性を即答できる人はどれだけいるだろうか。著名なものはまだしも、建造物だけで全国に2065件存在する重要文化財全てに、その価値を見出すことは難しい。その一軒が身近にあり、文化財保護について調査している身であっても、最近まで想いを巡らせることさえなかった。  
江川邸の歴史についての造詣を深め、その答えを自ら見出すことにより、文化財保護へ解像度をより高めようと考え、探究を始めた。

## 2 目的

- ①江川家を取り巻く歴史、環境について調査し、得られた知見を**文化財保護**の問題に応用する。また、①の調査を進める上で、以下の②に派生した。
- ②**金谷十三人衆**と**江川家**の、現代にまで続く協力関係について研究し、考察する。

## 3 調査

江川邸の歴史：  
1600年頃に建設され、以後①のように改修を繰り返す。  
39代英文の代に東京へ移住。  
疑問1：  
江川家が東京に移住して尚、江川邸の管理が廃れないのはなぜか？  
↑  
**金谷十三人衆**の子孫の協力  
疑問2：  
850年間、特に幕末後の150年にわたって、関係が廃れないのはなぜか？



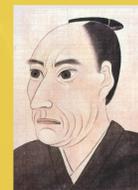
主屋屋根改修工事の様子

※**金谷十三人衆**：  
保元の乱の際、江川家と共に伊豆まで逃れた家臣たち農民の統括などを任せられる

文献が少ないため、江川邸統括主任、金谷のご子孫の宇田嘉隆さんにインタビューを行った。

## 考察

- (1) **世襲制の代官であったこと**  
江川家は数少ない**世襲**を許された代官であり、その安定が領民からの信頼につながったのではないか。
- (2) **金谷の子孫の苗字**  
宇田さんによると、金谷の人々の間には、**名字による身分の差**があったという。これらの特徴は、**江川家が清和源氏から由来する由緒正しき武家**であることに由来すると思われる。そういった社会構造が、金谷の家臣たちに、潜在的に**江川を守る**という思考を与えたのではないか。
- (3) **江川英龍の功績**  
36代英龍は、**偉人**として語り継がれている。彼の功績が現代まで伝わり、宇田さんによると韮山地域では非常に尊敬されているようだ。
- (4) **家臣としての意識**  
にわかには信じ難いが、宇田さん方、金谷の子孫には、いまだに**江川家の家臣としての意識**があるようだ。**親から子へと伝えられ、小さい頃から江川邸に触れ合う**ことで、自然と意識が芽生えるという。



英龍の自画像



世界遺産 韮山反射炉



お台場も彼の下で建設された。画像は安政2年 大砲試射の様子

## 4 文化財問題

これらのグラフは、江川邸、そして我が国の文化財の現状を表す。入場客数は、反射炉世界遺産認定時の1/4ほどとなり、固定負債は**年300万**のペースで増える。それに対し日本の文化政策は世界でも**後進的**だ。



## 5 まとめ

以上の探究を通し、文化財とは、「モノ」ではなく**歴史かつ記憶そのもの**だと確信した。金谷の人々と、江川家の「つながり」を保つのは江川邸だ。だからこそ、歴史の一部である江川家が、それに関わる必要がある。他の文化財に関しても、「正しい形の継承」を行えるよう、一層の保護を呼びかけていく。

謝辞： 今回のリサーチにご協力いただいた江川邸の皆様と心より感謝申し上げます。

参考文献：“文化財指定等の件数”、指定文化庁、2026-2-1、<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/shitei.html>  
“江川邸について”、重要文化財 江川邸、<https://www.egawatei.com/egawaresidence/>  
“決算報告”、公益財団法人 江川文庫、<https://egawabunko.or.jp/notification.html#>  
村上直、江戸幕府の代官、国書刊行会、1983、339p。  
一般社団法人 芸術と創造 令和2年度文化庁委託事業「諸外国の政策等に関する比較調査研究」